９３．みのぶ道

選定箇所：身延山周辺（山梨県身延町）、七面山周辺（山梨県身延町・早川町）、真篠城周辺（山梨県南部町）、馬坂峠（静岡県富士市）、関屋峠（静岡県静岡市）

概要：駿河国から日蓮宗総本山身延山久遠寺を経て、甲府へ至る全長約８０ｋｍの道である。駿河からは岩淵（静岡県富士市）から富士川沿いを行く道と興津（静岡市清水区）から北上する道があり、山梨県南部町万沢で合流する。戦国時代は甲斐の武田氏をはじめ軍用路として利用され、近世には「身延詣」のため、多くの人々が往来する信仰の道ともなった。近代においても、日蓮宗等の宗派は、身延山・七面山登拝行を必須の修行としており、往時の信仰活動を今日に伝えている。

みのぶ道（馬坂峠）（静岡県）

みのぶ道（山梨県）